

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園	対象年度	令和5年度
------	-------------	------	-------

【目次】

I. 履行確認・評価		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	2
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	3
II. サービスの質の確認・評価	4
III. 財務状況の確認・評価	5
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	8
1. 目標		
2. 評価結果		
附表 経営状況分析シート	9

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園		対象年度	令和5年度
指定管理者	安座真海浜公園運営企業体 (構成員名:沖縄文化スポーツイノベーション株式会社 合資会社 知念海洋レジャーセンター 株式会社 JALJTAセールス 特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議)		所管課	土木建築部 海岸防災課
	指定期間: 令和4年4月～令和9年3月			

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ゴミ回収、緑地等の草刈り、砂浜・トイレ・シャワー室等の清掃	○	○ (ゴミ回収)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	施設内の清潔が保たれている。今後も適切な衛生管理に努める。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内の設備を点検	○	○ (浄化槽維持管理)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保守・点検に努める。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内を巡回警備(管理施設・駐車場・砂浜・護岸等)	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保安・警備に努める。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的な巡回により、優先順位をつけ、効率的に修繕を実施	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	優先度の高い箇所より適切に修繕を実施。利用者の安全性と利便性に配慮し今後も適切な修繕を行う。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な事務用・維持管理用備品の購入	○		備品購入はなし	現地及び業務報告書で確認		今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
監視員の配置、定期的な防災訓練、危険生物防止ネットや救護用具(レスキューボート、AED等)の設置	○	○ (夜間巡回警備)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切に防犯・防災対策をとること

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
シャワー料金、駐車場料金の徴収を行う	○	○	事業計画のとおり実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に利用料金を徴収すること

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	定期的な巡回により施設の至る所で破損や修正の必要な箇所の確認、対応を行い、施設利用者の安全管理に努めた。 今後も利用者の安全性と利便性に配慮し、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕を実施していく。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(a+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和4年度実績	事業計画 (目標値)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	21,456	—	26,268	122%	—	令和4年度より利用者数は2割程度増加したものの、海外からのインバウンド客などの団体利用者については、伸び悩んだ。繁忙期の8月に台風8号の影響により、ビーチは長期間閉鎖となり全体として利用者数は伸び悩んだ。
	団体利用者数	4,455	—	4,908	110%	—	
	計	25,911	58,000	31,176	120%	54%	

<p>【評価基準 (①利用状況)】 目標値に対する達成率 S : 110%以上 A : 100%以上、110%未満 B : 80%以上、100%未満</p>	評価(①利用状況)	C
--	-----------	---

2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	令和4年度実績	事業計画	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
イベント	海開き	100	200	1,235	皆増	618%	4/17海開きセレモニー イベント告知についての情報発信を積極的に行う必要がある。
	学校遠足	465	700	461	99%	66%	県内中学校・高校計3校。BBQ及び海水浴で利用した。
	BBQ、マリンスポーツ、キャンプ他イベント	370	450	130	35%	29%	各種団体によるイベント利用
	ビーチクリーン	200	150		0%	0.0%	
	年越しキャンプ			156	皆増		売店営業
	元旦初日の出	550	500	813	皆増	162.6%	売店営業、豚汁無料配布
	修学旅行、研修会	600	400	310	52%	78%	
	あざまサンサンマルシェ	1,800	1,500	2,040	113%	136%	毎月第3日曜日に、知念漁協朝市と連携し実施
	ビーチバレー	50	100		0%	0%	
	グランドゴルフ大会	20	30		0%	0%	
キャンプサイト (12/1~)	300	500		新規	0%	オフシーズン土日祝祭日の開催	
計		4,455	4,530	5,145	115%	114%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	361日	業務報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	台風の影響で5日臨時休業となった。(海開きは4月16日・今期の遊泳可能日数は154日間)
〈開館時間〉	4/1~10/31 9:30~20:00	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	4月には修学旅行・団体旅行客の受け入れがあった。 5月のコロナ5類移行後、国内旅行者の動きはまずまずであったが、8月の繁忙期に台風6号の被害の復旧に2週間を要したことから、旅行者の伸びが鈍化した。
	11/1~3/31 9:30~19:00	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	海外からのインバウンドは、コロナ前の50~60%程度で回復が遅れている。
	※ビーチ開設期間 4/16(海開き)~10/31	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	全国で初めての常設ユニバーサルデザインビーチとして運営を行った。車いす利用者が増え認知度が少しずつ上がってきた。 キャンプ場をオープンして自主事業の幅を広げる施策を実施してようやく定着してきた感がある。

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
丁寧な対応を心がけ、予約、連絡ミスをしない	○		事業計画のとおり実施できた	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	利用者に対してスタッフが丁寧に対応しており、今後もより良い対応を心がけること

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP作成、SNS(インスタ、フェイスブック)掲載	○		事業計画のとおり実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	集客増に向けて、HP更新及びSNS発信等工夫するなど効果的な広報に努めること。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予約台帳等の個人情報を適切に管理する。	○		事業計画のとおり実施した	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	トラブルなどは特に発生しておらず、引き続き適切な管理に努めること

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
バーベキュー	○		バーベキュー食材の販売、器材のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切な接客対応に努めること。
マリンスポーツ体験		○	バナナボート・シュノーケル等	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
レジャー用品レンタル	○		パラソル等のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
売店	○		飲物、軽食等の販売	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	顧客ニーズ対応に努め、今後も適切なサービス提供すること。
自動販売機	○		飲料自動販売機を設置	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	品切れ等に留意し、今後も適切なサービスを提供すること。
施設使用料	○		東屋、キッチンカー施設利用	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に安全に配慮したサービスを提供すること。
キャンプサイト	○		閑散期に実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	事業周知や顧客ニーズ対応に努め、閑散期の集客効果を高めること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>今年度の4月は修学旅行、団体旅行の実施はできた。6月のコロナ5類への移行後、国内旅行者の動きはまずまずであったが、繁忙期の8月に大型台風6号の襲来による被害は甚大で、復旧作業に人手が不足し、復旧には約2週間の時間を要した。このため、国内旅行者の動きも鈍る形となった。インバウンドに関してはいまだコロナ前の50%~60%と行ったところだと思ふ。ビーチは4月の海開きと同時にユニバーサルデザインビーチとして、モビマット(車いす利用者用のマット)を導入、モビチェア、バギーを常設して、全国で初めての常設のユニバーサルデザインビーチとして運営を行った。今年度は車いす利用者が増え、UDビーチとしての認知が少しずつではあるが上がってきている。ビーチとしてのアンケートの評価でも全体的な評価は高い。キャンプ場をオープンして自主事業の幅を広げる施策を実施しているが、ようやく定着しつつあるようだ、トイレの洋式化に加えトイレトイレットペーパーの常設をおこなったことで、トイレに関する不満は解消された様子。引き続きシャワーの温水化、多目的トイレの修理等進めていきたい。</p>					
-----------------------------	--	--	--	--	--	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法	管理事務所にて施設利用者へ配布	回答者数	112名	アンケート内容	別紙(資料3)参照	
評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
	令和4年度評価	令和4年度目標	令和5年度評価			
維持管理業務 施設・設備管理(シャワー、トイレ)	(満足度)85%(※1) ・満足 15% ・やや満足 70% ・やや不満 10% ・不満 5%	(満足度)80%(※1)	(満足度)85%(※1) ・満足 46% ・やや満足 37% ・やや不満 12% ・不満 5% (改善要望) シャワー真水しか出ない 温水シャワーが必要 施設が古い 東屋のベンチが壊れている ペーパーが有料	A	(要望への対応) 施設は古い、清潔感を心がけて清掃している。トイレの一部洋式化が施され、(自己評価) 来場者の皆様からは評価された。	利用者から要望のあったシャワーの温水化については、令和6年に改修予定である。 ベンチ破損箇所など修繕箇所については、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕等を実施していく。
運営業務 接客対応	(満足度)100%(※1) ・満足 95% ・やや満足 5% ・やや不満 0% ・不満 0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足 61% ・やや満足 37% ・やや不満 2% ・不満 0% (改善要望) キャッシュレス決済に時間がかかった	S	(要望への対応) 特になし。 (自己評価) 5類移行後は通常の受付対応を行いつつも、コロナに対する対策や来場者の皆様に丁寧な対応ができた	引き続きコロナ感染症対策の実施を行いながら、丁寧な接客対応、努める。
施設・設備 (BBQ会場、ビーチ)	(満足度)100%(※1) ・満足 75% ・やや満足 25% ・やや不満 0% ・不満 0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足 48% ・やや満足 44% ・やや不満 8% ・不満 0% (改善要望) 特になし。その他意見として「ビーチパーティーができてよかった。」	S	(要望への対応) 特になし。 その他の対応として草刈り等の環境整備を重点的に行った。 危険箇所の修繕等を行った。 (自己評価) 引き続き、利用者の利便性向上に努める。	施設内を清潔に保ち、整備については定期的に点検を行うなどトラブル防止に努めること。 危険箇所においては、指定管理者と県で共有し、改善方法及び処理について適宜対応していく。
自主事業	(満足度)100%(※1) ・満足 88% ・やや満足 12% ・やや不満 0% ・不満 0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足 54% ・やや満足 64% ・やや不満 2% ・不満 0% (改善要望) タレが濃い、タレ無しがよい テーブル、椅子が古い 当日お肉のみの追加ができるとよい	S	(要望への対応) メニューの内容を検討し、海鮮のメニューの追加を検討 当日の追加など売店を活用することで対応を検討したい テーブルの修繕を行う。 (自己評価) ビーチの草刈りを意識的に増やし、また花などの植栽も行うことでビーチの彩を意識して管理した	自主事業で最も売上実績を占めるBBQの満足度を高めるため、改善を促す。 危険箇所においては、指定管理者と県で共有し、改善方法及び処理について適宜対応していく。
総合評価 (各評価項目の平均)	(満足度)96.2% ・満足 68.2% ・やや満足 28% ・やや不満 2.5% ・不満 1.3%	(満足度)80%(※1)	(満足度)96.2% ・満足 68.2% ・やや満足 28% ・やや不満 2.5% ・不満 1.3%	評価 (②満足度) S	(自己評価) BBQ施設の整備を進めつつ、お客様にもビーチでのルールを理解していただき、美化に協力いただけるように、丁寧な説明を心掛けていますが、ご理解いただけないお客様(特に地元客)のお客様の対応に苦慮した。全体的には評価は高く、今後もお客様の声に耳を傾けつつ、施設の美化に努めること	施設の清潔さやスタッフ対応の良さ、海がきれいとの意見があり、顧客満足度の高さがうかがえる。今後とも満足度の維持・向上のため、創意工夫に努めること。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

II. サービスの質の確認・評価 取組改善案	今後はインバウンドの来場の回復が予想されるので、引き続きサービスの多言語化対応を進めていく。ユニバーサルデザインビーチとして、さらにスタッフ研修を行い、対応の強化を図る。また利用者からの要望が強いシャワーの温水化については、令和6年度に改修する予定である。その他の破損箇所についても、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕等を実施していく。
---------------------------	--

※「II. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(a+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和4年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	駐車場	3,721,900	6,120,000	—	3,428,900	92.1%	56.0%	1台500円
	シャワー料	896,200	2,040,000	—	31,600	3.5%	1.5%	1回200円
	計	4,618,100	8,160,000	—	3,460,500	74.9%	42.4%	
指定管理料		—	—	—	—	—	—	利用料金制のため
自主事業収入	バーベキュー(器材・食材等)	5,204,900	21,760,000	—	11,124,690	213.7%	51.1%	
	レジャー関係備品レンタル料等	1,517,500	2,040,000	—	3,379,410	222.7%	165.7%	
	マリンスポーツ体験料	4,224,800	7,480,000	—	5,756,900	136.3%	77.0%	
	キャンプサイト	122,600	1,287,000	—	1,337,900	1091.3%	104.0%	
	トイレトペーパー	52,000	200,000	—	0	皆減	皆減	施設側で常備したため
	店舗使用料	46,800	400,000	—	1,218,588	2603.8%	304.6%	食堂
	施設使用料	824,776	900,000	—	—	皆減	皆減	
	自動販売機	332,554	450,000	—	470,692	141.5%	104.6%	
	イベント事業	—	1,000,000	—	0	皆減	皆減	
	台風被害復旧、施設修繕費	6,219,180	0	—	6,042,355	97.2%	皆増	①台風2, 6号復旧 ②台風6号事務所窓ガラス破損
	雇用調整助成金(国)・応援支援金(南城市)	9,600	0	—	—	皆減	皆減	
	雑収入	374,082	500,000	—	5,517,235	1474.9%	1103.4%	ロッカー手数料、ゴミ袋等
計	18,928,792	36,017,000	—	34,847,770	184.1%	96.8%		
合計(A)		23,546,892	44,177,000	—	38,308,270	162.7%	86.7%	
参考:台風被害復旧等を除いた額		17,327,712	44,177,000	—	32,265,915	186.2%	73.0%	
〈現状分析・課題〉								
利用料金収入は前年度比74.9%と減少している。要因としては、8月の台風被災のため、利用客が減少し、事業計画比の約4割止まりとなった。自主事業収入は、BBQ収入が前年比約1.6倍増加したが、台風の影響により事業計画比の約8割止まりとなった。キャンプサイト運営は計画通りの収入となっている。								

(2) 支出(指定管理業務)

支出項目		令和4年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費		9,376,937	10,175,000	—	22,514,573	240%	221%	職員2人(給与、賞与、交通費、法定福利費)、臨時職員
需用費		2,906,127	4,730,000	—	4,536,614	156%	96%	・消耗品費(トナー代等) ・燃料費(草刈機用) ・光熱水費(シャワー水)
備品購入費		0	500,000	—	0	0%	皆減	
広告宣伝費		0	650,000	—	200,848	0%	皆減	経費節減に伴う削減
旅費		—	—	—	16,510	—	—	
役務費		275,060	576,000	—	1,050,386	382%	182%	・通信運搬費(電話、ネット等) ・手数料(振込等) ・保守料 ・役務費
委託料		2,267,973	7,500,000	—	8,310,970	366%	111%	ビーチ監視、浄化槽、警備、草刈り清掃
印刷製本費		0	300,000	—	0	0%	皆減	
使用料及び賃借料		26,920	300,000	—	51,700	192%	17%	PC・電話機及び草刈機リース等
修繕料		7,645	100,000	—	1,997,655	26130%	1998%	指定管理者修繕(軽微な施設修理)

公租公課	0	700,000	—	25,600	#DIV/0!	4%	
予備費				30,000			
一般管理費	8,250	350,000	—		0%	—	教育研修費
その他(台風被害復旧費用立替金)	6,219,180	0	—	6,017,000	97%	—	①放送設備修繕、 ②R4冬期季節風飛砂被害復旧、 ③台風災害復旧
合計	21,088,092	25,881,000	—	44,751,856	212%	173%	
参考:台風被害復旧費用立替金を除いた額	14,868,912	25,881,000	—	38,734,856	261%	150%	

(2) 支出(自主事業)

支出項目	令和4年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費	0	0	—	0	0%	0%	
賃金	0	0	—	0	0%	0%	
報酬費	0	0	—	0	0%	0%	
旅費	13,540	0	—	0	皆減	0%	
交際費	7,080	0	—	0	皆減	0%	
需用費	1,084,326	300,000	—	1,643,477	152%	548%	BBQ関連消耗品、光熱水費、燃料費
印刷製本費	0	200,000	—	0	0%	0%	
役務費	1,368,580	350,000	—	-315,464		-90%	保険料、燃料費、通信費、手数料
委託料	7,234,965	4,422,000	—	6,186,010	86%	140%	イベント、マリンレジャー関連
使用料及び賃借料	1,199,370	0	—	2,428,710	202%	皆増	リース料、漁業権海域使用料
原材料費	2,076,379	11,363,000	—	3,580,554	172%	32%	BBQ関連食材費等
備品購入費	0	0	—	0	0%	0%	
修繕費	0	0	—	0	0%	0%	
負担金	70,000	0	—	0	皆減	0%	
広告宣伝費	264,000	300,000	—	12,312	5%	4%	
公租公課	0	350,000	—	0	0%	皆減	
その他	17,592		—	3,107,576	17665%	皆増	諸会費、予備費、その他諸原価
合計	13,335,832	17,285,000	—	16,643,175	125%	96%	
合計(指定管理料+自主事業)(B)	34,423,924	43,166,000	—	61,395,031	178%	142%	
参考:台風被害復旧費を除いた額	28,204,744	42,466,000	—	55,378,031	196%	130%	

〈現状分析・課題〉
 施設管理や売店などもオープンさせたことにより人件費は増加したが、台風の影響により売り上げを伸ばすことができなかった。キャンプは徐々に定着してきており来年度増収につながる期待がある。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和4年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-10,877,032	1,711,000	—	-23,112,116	212.5%		台風被害復旧費用を除く
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	-62.8%	3.9%	—	-71.6%	114.1%		台風被害復旧費用を除く
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	26.7%	18.5%	—	10.7%	40.2%		台風被害復旧費用を除く
人件費比率 (人件費/支出(B))	33.2%	24.0%	—	40.7%	122.3%		台風被害復旧費用を除く
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	33.7%	28.1%	—	26.2%	78%		台風被害復旧費用を除く
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,089	732.1724138	—	1,776	163.2%		台風被害復旧費用を除く
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	—	—	—	—	—	—	指定管理料なし

〈現状分析・課題〉
 シーズン中の台風6号の影響により復旧に時間が掛かり、ビーチ利用、自主事業の売り上げに影響し、収益に及ぼした。売店をオープンしたことにより人件費率が増加した。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況) C

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満
 C: -5%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価
 取組改善案
 令和5年度も台風の影響によりビーチの復旧に時間を要したことにより、売り上げ減少が見られることから、引き続き県と連携して被災後の復旧対応を迅速に行い、収益改善に向けて自主事業の売り上げを伸ばす取り組みを強化していく必要があります。キャンプに関しては徐々に定着してきており来年度の増収につながる期待できます。インバウンドによる団体客が回復していないことから、積極的に修学旅行や海外からの団体客の誘客の強化に取り組む必要があります。

※Ⅲ. 財務状況の確認・評価の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて6年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等其他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2023 (R5年度)	2024 (R6年度)	2025 (R7年度)	2026 (R8年度)	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数 60,000	65,000	68,000	70,000	R4の目標58,000人に加えてインバウンドの集客考慮して60,000人とした。
	②満足度	満足度 85%	85%	90%	95%	インバウンドの多言語化アンケートを増やすことで、より課題を抽出する。
財務指標	③財務状況	収益率 2%	2%	2%	3%	台風対策、ビーチの認知度を上げ、閑散期での自主事業の収益を伸ばす。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和3年度実績	事業計画(目標値)	令和4年度実績		現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和6年度目標値	
				前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	14,525	58,000	31,176	215%	54%	C (-10)	今後は、関係団体や観光団体等と連携したイベント開催を模索するなど、インバウンド団体客、修学旅行や遠足等の学校行事の誘致に努めること。	65,000	
	②満足度	100%	80%	96.2%	96%	120%	S (20)	今後も、顧客満足度の向上及び顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努める。	85%	
財務指標	③財務状況	11%	2%	-71.6%	-627%	-3582%	C (-5)	計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの柱の事業であるキャンプサイト運営など、収入増につなげる方策を強化する必要がある。	2%	
活動指標	④重点取組事項	安全安心保安警備	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や休園中、無断遊泳者へ注意喚起を実施した。	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や遊泳の監視員を配置	警備巡回や遊泳の監視員を配置した結果、大きな事故はなかった。また運用委員会意見を聞き、AED消防講習会を受講し、その旨掲示している。		S (10)	ビーチ管理においては安全安心が一番であるため、海上保安庁や消防との連携を図るため令和6年度は、ビーチを海上保安官連絡所に位置付けることで、海の事故ゼロのリーディングビーチと、併せてインバウンド対応として多言語対応をめざす。	安全安心に施設が利用できるよう、海上保安官連絡所の設置や多言語対応を行う。	
総合評価		概ね適正に管理されている。運営の継続性・安定性を確保するため、自主事業の強化を図るなど収益率の向上に取り組む必要がある。						B (15)		

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
 ※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
 ※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。
 ※「α+1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

- 目標値に対する達成率
- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

- 総合評価における満足度 (各評価項目の平均値)
- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

- 収益率 (事業収支/収入合計)
- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

- 目標に対する評価
- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

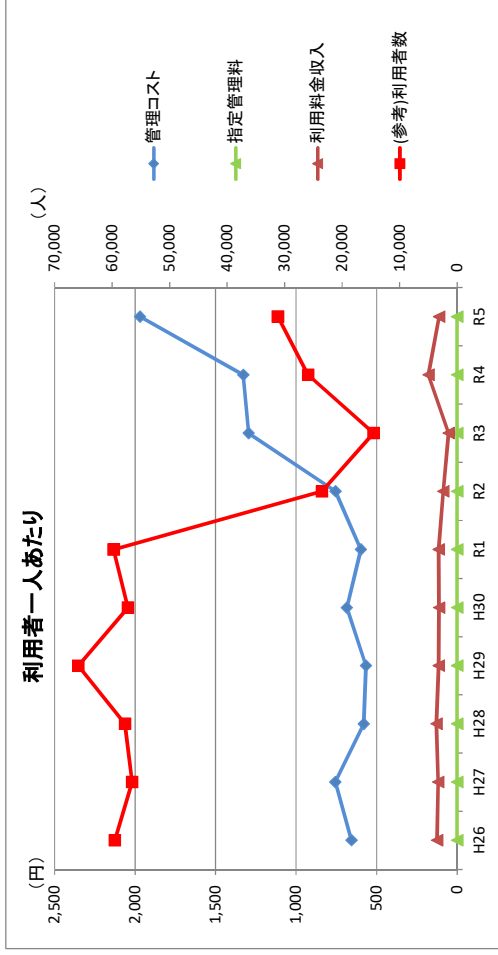
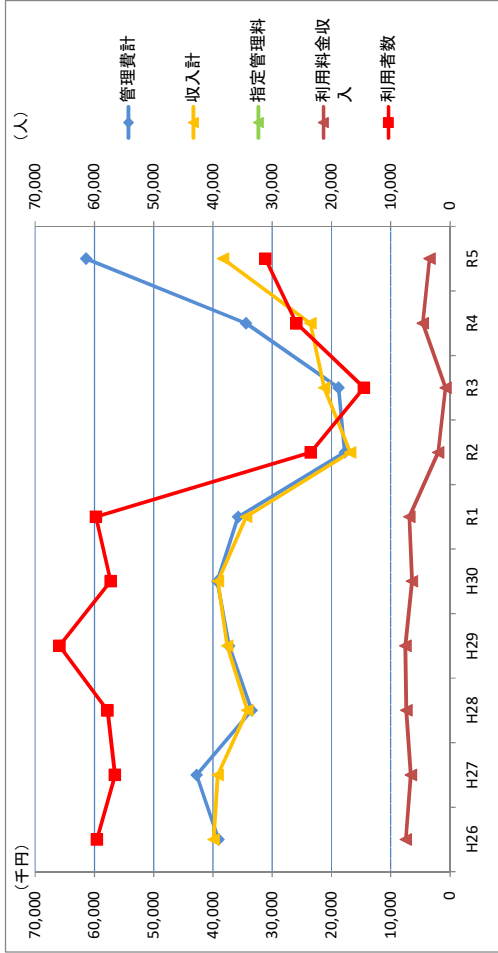
【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称：中城湾港安座真海浜公園】

指標	指管理										直営												
	単位	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
成果指標	利用者数	人	167,335	141,283	102,661	110,939	71,394	65,493	66,463	60,646	59,550	56,516	57,768	65,887	57,265	59,751	23,504	14,525	58,000	31,176	65,000	68,000	70,000
	実績	人	167,335	141,283	102,661	110,939	71,394	65,493	66,463	60,646	59,550	56,516	57,768	65,887	57,265	59,751	23,504	14,525	58,000	31,176	65,000	68,000	70,000
	目標比	%	—	—	—	66%	43%	39%	41%	36%	34%	35%	39%	34%	36%	14%	9%	15%	45%	52%	0%	0%	0%
	H17比	%	—	84%	61%	61%	43%	39%	41%	36%	34%	35%	39%	34%	36%	14%	9%	15%	45%	52%	0%	0%	0%
財務指標	指定管理料	千円	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	利用料金収入	千円	21,401	18,934	13,726	12,176	10,305	8,163	7,993	8,931	7,457	6,601	7,382	7,543	6,417	6,867	2,004	767	4,618	3,460	3,460	3,460	3,460
	収入計	千円	71,901	68,443	53,779	65,211	63,171	55,869	39,547	36,087	38,785	39,904	39,182	34,194	37,578	34,385	34,841	21,240	23,547	38,308	38,308	38,308	38,308
	管理費計	千円	68,336	67,985	50,447	59,151	55,157	48,806	39,236	37,000	43,387	39,061	42,765	33,464	37,284	39,267	35,732	17,763	18,815	34,423	61,395	61,395	61,395
収支	千円	—	—	—	6,060	8,014	7,063	311	-913	-4,602	843	-3,573	730	294	-111	-1,347	-922	2,425	-10,876	-23,087	0	0	0
	収支率(収支/収入計)	%	—	—	—	9%	13%	1%	-3%	-12%	2%	-9%	2%	1%	-4%	-5%	11%	-46%	-46%	-46%	-46%	-46%	
/単位	一人あたり管理コスト	円	—	—	—	576	497	684	599	541	715	656	757	579	686	598	756	1,295	1,329	1,969	1,969	1,969	
	一人あたり指定管理料	円	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	一人あたり利用料金収入	円	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※施設の特長に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
 ※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前には、指定管理者制度導入直前1年間のデータも合わせて作成すること。



実績変動の要因分析

- R5年度 インパウンド回復の遅れや台風来襲のため入場者数及び収入tが伸び悩んだ。
- R4年度 コロナ禍による利用制限や台風接近のため入場者数及び収入が落ち込んだ。
- R3年度 コロナ禍による休園のため入場者数及び収入が前年度より大きく落ち込んだ。
- R2年度 コロナ禍による休園のため入場者数及び収入が前年度より大きく落ち込んだ。
- R1年度 台風の接近が多くBBQやマリンスポーツ等の影響が大きく、収入は前年度比減となっている。